



裁判員等経験者との意見交換会 開催概要

参加された裁判員又は補充裁判員 7名

呼称 番号	職務従事期間	事件の罪名	認否	争点
①	10日（審理6日）	現住建造物等放火、暴行	否認	火災の原因は放火か、被告人が犯人か、姉に対する暴行はあったか。
②③	5日（審理3日）	強盗傷人	自白	量刑
④	11日（審理8日）	住居侵入、強盗致傷、強盗、建造物侵入、窃盗	否認	強盗関係の一部事件で被告人に強盗の故意があったか。
⑤	7日（審理4日）	住居侵入、強盗致傷、強盗	自白	量刑
⑥	4日（審理2日）	強盗致傷	自白	量刑
⑦	5日（審理3日）	殺人未遂	自白	量刑

※司会の裁判官の他、裁判官1名、検察官1名、弁護士1名、報道関係者2名が出席しました。
 ※この開催概要は、主だった御意見・御感想等を掲載します。
 ※職務従事期間に、選任手続期日は含まれません。



話題事項：審理に関する感想

検察官・弁護人の主張及び立証に関する御意見・御感想をお聞かせください。

- ① 専門家の証人尋問がありましたが、写真などを見ながら、話を理解することができました。また、分からないときは、その都度、裁判官に親切に教えてもらえたので、助かりました。
- ② 検察官、弁護人の冒頭陳述は分かりやすく、チェックすべきポイントが分かったので、よかったと思います。証拠調べも映像や図面を見ることができたので、それは分かりやすかったのですが、犯行に使われた凶器の現物を見ることができなかつた点は消化不良に感じました。
- ③ 冒頭陳述で検察官や弁護人が用意する資料は、事実や主張がとても整理されており、私みたいな素人が見ても非常に分かりやすい内容となっていて、配慮されていると思いました。証拠調べでは、裁判官から事前に被告人に質問するやり方を教えてもらえたので、非常にスムーズに質問することができました。
- ⑤ 担当した事件では複数の犯行を審理しましたが、検察官の冒頭陳述では、いつどこで誰が誰とどのようなことをしたかという内容がきちんと説明されていたので、よく理解することができました。証拠調べでは、怪我の証拠写真を見る際に、検察官から予告してもらえたので、心構えができてよかったと思います。
- ⑥ 検察官や弁護人が短い期間でものすごい準備をして、私たち素人に分かりやすく説明してくれていて、専門家なんだということを実感しました。
- ⑦ 検察官の主張や立証は論理的で分かりやすく、弁護人と比較すると、検察庁の組織力の強さを実感しました。他方で、一国民としては、弁護人の弁護活動に対して、もっと支援が必要なのではないかと感じました。



話題事項：評議に関する感想

裁判官との評議に関する御意見・御感想をお聞かせください。

- ① 裁判長の司会のもと、いろいろな裁判例を見ながら、みんなで決めることができたので、あまり苦労は感じませんでした。
- ② 自分なりの判断をしましたが、ほかの方の御意見を聞いたら、こういう考え方もあるんだなと感ずることがあり、勉強になったと思います。
- ③ 全員が意見を言いやすいようにすごく配慮してもらったと思います。もしかしたら的外れな質問じゃないかと思う質問をしても、司会の裁判長にうまく整理してもらえたので、十分納得がいく議論ができたと思います。
- ④ 被告人の犯行時の役割を考慮しながら、みんなで判断して進めることができました。
- ⑤ 裁判官と裁判員がいろいろな意見を言い合いながら、きちんと評議できたと思っています。
- ⑦ 裁判官から詳しい説明があり、初めてでもよく分かってありがたかったと思います。裁判官と裁判員の評議では、思っていた以上にいろいろな意見が出て、こういう考え方もあるんだなと参考になりました。



話題事項：裁判員等として参加するに当たっての負担

審理日数、審理の内容等について、御負担に感じられた点などをお聞かせください。

- ① 家族の後押しがあり、協力して家事をしてくれたので楽でした。
- ② プレッシャーは感じましたが、5日間と短い期間だったので、精神的、肉体的な負担はあまりありませんでした。
- ③ 集合時間など無理がないように配慮していただいたので負担には感じませんでした。
- ④ 勤務先に相談したところ、すぐに対応してもらえたので、問題なく参加することができました。
- ⑤ 勤務先には裁判員制度に関するマニュアルが整備されていて、きちんと協力するように言われていたので、業務上の折り合いは付けやすかったです。
- ⑥ 周りからは年齢を考えると辞退するよう勧められましたが、ボランティアだと思い頑張りました。経験してとてもよかったです。
- ⑦ 5日間だったので、精神的、肉体的な負担はほとんどありませんでした。



話題事項：これから裁判員等になれる方へのメッセージ

これから裁判員、補充裁判員になれる方へのメッセージをお願いします。

- ① 貴重な体験ができて参加して本当によかったと思います。これから裁判員になれる方には進んでやっていただきたいと思っています。裁判所の方は最初、無機質な人ばかりなんだろうって思っていたのですが、実際には全然違いました。
- ② 普通の人の普通の感覚で普通に裁判所に来られればいいんだと思います。分からないことがあれば分かるまでしっかりいろいろなことを教えていただきました。あと、いろいろな出会いがありました。裁判員の方、裁判官の方、普段生活の中で出会えない出会いがあって非常に勉強になりました。そういう人とお話できてちょっと人生観が変わりました。
- ③ 本当に貴重な経験をしたと思います。これから選ばれる方は、不安をお感じになるかとは思いますが、裁判所の皆さんを始め関係される皆さんの手厚いサポートだったり配慮があるので、安心して臨んでいただけたと思います。若い方もめんどくさいって感じる方も中にはいらっしゃるかと思うんですけども、やってみてって強く勧めたいなっていう気持ちです。
- ④ 裁判所は非常に硬いイメージがあるかと思いますが、実際には非常にソフトな対応なのかなというふうに思いました。また、裁判員になることに対してプレッシャーもあると思いますが、いい経験になると思いますので是非やっていただきたいというふうに思います。
- ⑤ これから裁判員になれる方は、被告人の動機がどこにあって、それを量刑にどう結び付けていっていかってということを考えながらやってみてはどうかと思います。
- ⑥ これから若い方に向けて、少しずつこの裁判員制度の意義を語っていききたいなと思ってます。
- ⑦ 裁判員裁判では、被告人に今後どういうふうに生きてほしいっていうようなことを考えながら真剣に取り組みました。私自身、仕事とか家族の問題とか、いろんな悩みはありますが、人の人生をここまで考えるっていうことが今まであまりなかったので、今後、裁判員になれる方には、是非参加していただければ人生大きく変わりますよということを伝えたいです。